

STOP!

リニア中央新幹線計画

去る2月3日、黒岩知事と加山相模原市長は県庁で共同記者会見をおこないリニア中央新幹線の中間駅を橋本駅周辺に誘致することで合意したと発表しました。

具体的な位置にも言及し、駅南口正面に立地する県立相原高校の敷地を「有力候補」としていることを明らかにしました。

JR東海の単独事業とはいえ9兆円もの巨額の工事費を使い、原発数基分の電力を消費するという大規模事業がこれからの日本に本当に必要でしょうか。

全体の8割が地下という方式は環境破壊につながらないのでしょうか。噂される電磁波の健康への影響は大丈夫でしょうか。



リニアの駅は直線1Km,最大幅50mで露天掘り?

- ◎ リニア新幹線の駅は直線1Km、最大幅約50m、面積で3.5ha
- ◎ 地上からは20~30m地下で露天掘りとなる予定
- ◎ 車両基地は総面積50ha、旧津久井町の地域に
予定 一県立自然公園、丹沢大山国定公園などに
近く、間を流れる道志川は貴重な水源

実際に工事が始まると周囲に大きな影響が!



<リニア新幹線を考える相模原連絡会 準備会>

わたしたちは、相模原のリニア計画の沿線住民の会です。

リニア新幹線の計画についてJR東海や国土交通省の説明はまったく不十分であり、多々ある疑問点に納得いくように説明を求めています。計画の安全性について確認できるまではJR東海の建設はストップすることを求めて活動します。また問題点を広く知ってもらうこと、さらに行政への働きかけもしていきます。また川崎、横浜、町田、稲城などのリニア計画の沿線住民の会である「リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会」とも共同して取り組んでいきます。

リニア中央新幹線の計画や地域への影響を一緒に考え行動しましょう!

リニア新幹線を考える相模原連絡会 市民集会

3月31日(土)午後6:30~9:00 ルビさがみセミナールームII
(JR橋本駅前 スーパーイカ6F)

基調講演：上田昌文さん
(NPO法人 市民科学研究所)

「環境を生かしたまちづくりを!
リニアは必要か?」

講演終了後、連絡会発足会があります

主催：リニア新幹線を考える相模原連絡会
連絡先：浅賀(090-4378-9257) 中野渡(042-712-7077)

相原高校は地域の宝です！！



(橋本駅南側に位置する相原高校)

相原高校は市民にとって大切なこの場所

大正11年、地元の篤志家が地域の農業後継者育成のため、高校の土地を提供。

12年の関東大震災のときは生徒さんが作った野菜を自転車リレーで横浜へ届けました。

「畜産科学科」「環境土木科」「食品科学科」などこれからの社会やくらしのあり方をリードするものです。

構内の林や畑も長年の生徒の働きによって作られてきた大切な環境です。

防災のための避難場所としても重要な相原高校

昨年の東日本大震災の時は、帰宅困難者800人のみならず、近隣の停電でエレベーターが使えなくなったマンションの住民が多数避難して来ました。

駅は改札を閉じ、アナウンスで乗客を相原高校と、駅の反対側にある旭小に誘導しました。高校では生徒は備蓄していた毛布100枚を避難者に配ってありました。

旭小でも400人を受け入れましたがターミナル駅をかかえる自治体は直下型地震などのとき、避難する市民が利用できる場所を確保する義務があります。

駅前の公共空間は防災の点からも重要です。



安全性は本当に大丈夫？

リニア新幹線は超伝導を使った強力な磁石で浮上して走行します。この電磁石から発生する電磁波の人体への影響が心配されますが詳しい説明はなされていません。

また路線の大部分を地下40mのトンネルを走りますが走行中に事故や災害に遭遇したとき、無事に地上に脱出できるのでしょうか。火災が発生したとき煙渦巻く狭い空間から約1000人の乗客をどのようにして脱出させる事ができるのでしょうか。

JR東海は昨年の説明会で「具体的にはこれから検討する」という無責任な回答です。

これでは”原発は安全です”を繰り返していた「原発安全神話」と同じではないでしょうか。



相原高校のくすの木

リニア新幹線について考えるシンポジウム

あなたの真下をリニアが通る

～リニア中央新幹線は必要なの？～

4月21日(土) 午後6時より、川崎市総合自治会館ホールにて

(武蔵小杉駅 徒歩7分)

主催：リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会／リニア市民ネット